



「次世代との交流会」を開催しました！

2025年1月31日（金）に千葉県教育会館会議室に於いて、次世代との交流会を開催しました。

当日は次世代の団体から、東邦大学 TOHO ボランティア部、学生団体グリーンベース、Food Aid In Nishichiba、会員生協からは、パルシステム千葉、コープみらい、生活クラブから参加があり、事務局と合わせて40名の参加がありました。



内 容

○主催者挨拶 はじめに千葉県生協連の尼崎専務理事より本交流会についての説明がありました。

○生協の活動紹介

パルシステム千葉、コープみらい、生活クラブ、千葉県生協連が学生に伝えたい生協の活動について紹介しました。1団体5分という短い時間で、生協の活動を知らない学生に何をどう伝えるのか、それぞれの生協がポイントを絞り、工夫を凝らしていました。それぞれの生協の特色がよく出ていました。

○学生団体の活動紹介 参加された3団体より

活動について説明をしてもらいました。

・東邦大学 TOHO ボランティア部 2009年から活動を開始しました。主に船橋市内で活動をしています。地域の活性化のために様々な活動を地域の方と一緒にこなっています。15年という活動期間は、地域の人々との交流や ボランティアの輪に繋がっています。

・学生団体グリーンベース 市原市 AMO の森で里山の保全と活用、若者コミュニティの運営をおこなっています。高齢者がおこなうイメージ強い里山保全を、「楽しそう」という発信をしながら若者の自己実現の場として活用することで、多種多様な若者に関わってもらい、里山の再生をめざしています。

プログラム

- 10:00 主催者挨拶
- 10:05 生協の活動紹介
- 10:30 学生団体紹介
- 11:50 昼食(交流)
- 12:30 ワールドカフェ形式での交流
テーマ「一緒にできること」
- 13:30 全体共有
- 14:00 終了



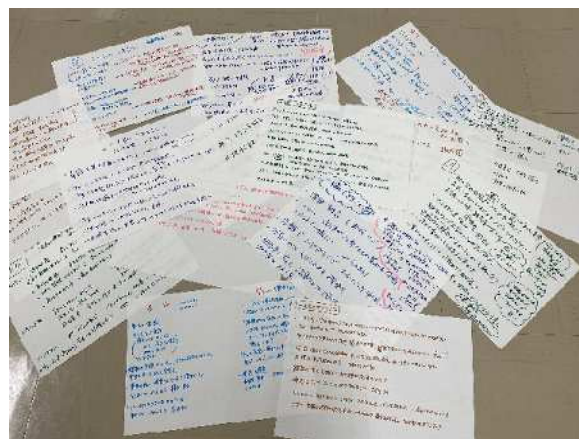
生協のみなさん



学生のみなさん

・Food Aid In Nishichiba コロナ禍での困窮した学生たちに対して、学業により集中できる環境を整えるために食材や生活用品、古着等の配布を学生が主体となり、おこないました。また学生の経済状況の把握をし、社会へ発信。コロナ禍が明け、学生の環境も変化してきたため、2025年1月末をもって団体を解散しました。

○ワールドカフェ形式での交流 昼食後は、「一緒にできること」というテーマで話し合いました。生協の参加者は20分ごとにテーブルを移動し、多くの学生とテーマについて話をしました。



参加者アンケートより（一部抜粋）

〈学生〉 ・他団体の活動がとても刺激になった。 ・若者では考えられない事を聞くことができたので、今後も交流してみたい。 ・学生と企業との間で何を求めているのか、何を知りたいのか、どのように思っているのかなどこれまで知ることのできなかった思いや考えを直接聞くことができた。 ・自分とは世代も立場も違うため、新しい考えや問題解決のためのきっかけとなると感じた。 ・普段メールなどの文体でしか話や意見を交換する方法はなかったが直接することで新しい視点から見る事ができた。 ・生協でも子育て支援や子ども企画などを行っていることを知りました。 ・大人の方と話をするのはとても緊張していましたが、自分たちの活動に興味を持ってくれたと感じました。 ・世代や大学、活動領域が異なる方々と話をすることで自分の考えが整理されました。 ・大人の方が「できる範囲で手伝いたい」と思っていることを知り、対面で話すことは大事だと思った。 ・生協の取り組みをもっと早く知っていたらと思いました。ぜひ2回目を開催するべきです。

〈生協〉 ・学生の報告がどれも興味深く、学ばせてもらいました。 ・お互いを知る機会となり、有意義な時間でした。 ・学生から多世代と交流したい、定期的に交流したいという言葉があり嬉しかった。 ・一緒にできそうなことが具体的に思い浮かびました。 ・学生団体の方々の意識が高く、意欲的に活動をされていることに驚きました。 ・「依頼や目的がなくても話す機会があれば」という学生の言葉に機会を作りたいと思いました。 ・ざっくばらんに話せるこのような交流が継続できれば次世代育成にもつながると思います。 ・